

2021年9月6日 令和3年度 第1回「入試科研2」研究会

第34回東北大学高等教育フォーラムの実施報告 —東北大学におけるオンラインを活用した入試広報活動を中心に—

東北大学 高度教養教育・学生支援機構
准教授 久保 沙織



●オンラインと来場のハイブリッド形式で開催

令和3年度入試は感染症に対する厳戒態勢の下、COVID-19第3波の只中で行われた。

高大接続改革とコロナ禍に翻弄された受験生はどう入試を迎えたのか。高校現場ではどのような見通しの下、何が行われていたのか。個別大学では何が議論され、どのように入試が準備されたのか。正解が見えない時代の教育と選抜の在り方が模索される中、真っ先に大学入学者選抜そのものが問われることとなった。本フォーラムが予定される5月の時点では結果が見えているだろう。ウィズ・コロナ時代の大学入試を描くには時期尚早だが、記憶が新しいうちにこの特別な入試の経験を記録に残しておかなければならない。今回の東北大学高等教育フォーラムはそのような主旨の下、開催することとした。

2



●オンラインと来場のハイブリッド形式で開催

- 参加者総数 529名
 - ・来場参加者 57名
 - ・オンライン参加者（申込者）472名

●YouTubeで公開中！

https://youtu.be/XTUVfhCG_xY

3

基調講演1

「コロナ禍における個別大学の入学者選抜 —令和3年度選抜を振り返って—」

九州大学准教授 立脇 洋介先生

- 九州大学における令和3年度入試に関する方針決定の経緯から実施までを時系列に沿って説明
- 「厳格さ・公正性」と「受験生（大学）の負担」のバランスの重要性
- 総合型・学校推薦型選抜では大半の学部が面接・口頭試問をオンラインに変更
- 一般選抜は遠隔とはせず、試験内容も変更なし
⇒ 追試験の受験者は7名であったが、トラブルなく終了

4

現状報告1

「臨時休校・分散登校の下での『学習の遅れ』の回復」 東京都立戸山高等学校主幹教諭 近藤 明夫先生

- 東京都立戸山高校における令和2年3月から6月までの休校および分散登校の状況を報告
- 休校中はZoomやYouTube等を活用した授業，分散登校中は3年生を中心にオンデマンド型の補講教材を発信
- 土曜日や祝日の授業実施，休業期間の短縮，行事中止に伴う授業日の増加によって，12月にはほぼ例年並みの授業数に
- 志望も下がることなく，大学入学共通テストの平均点，国公立大合格者数等の受験結果は例年以上
- 休校・分散登校中の学習に関する不安やストレスを訴える声も

5

現状報告2

「オンラインの現場から —Web授業のメリット・デメリット—」 須磨学園高等学校教諭 多田 鉄人先生

- 須磨学園高校における休校および分散登校等の状況を報告
- もともとICT教育に力を入れていて，録画配信は従来から活用
- コロナ禍ではZoomによるライブ配信を積極的に取り入れた
- 演習時間や課題の量を増やし，学校は予定通り動いていることを印象付けるため，計画していた模試は全て受けさせた
- 400名中200名ほどが国公立推薦を受験
- 生徒と教員の双方に実施したアンケート結果から，オンライン授業のメリット・デメリット，課題が明らかに

6

現状報告3

「大学入試における教員としての資質・能力の評価」 横浜国立大学准教授 鈴木 雅之先生

- 横浜国立大学では，令和3年度入試においてキャンパスでの個別試験を取りやめることを，2020年7月31日に公表
- 教員養成を目的とした教育学部において，アドミッション・ポリシーに鑑みると，共通テストのみでの選抜は不適切
- 教育学部の入試で課した，従来の個別試験と同等となるような代替措置について説明
- 面接試験はそれに相当する内容の動画，小論文試験はそれに相当する内容のレポート，実技検査はそれに相当する内容の写真・動画の提出を課した
- どのような状況でも「確実に実施できる」ことを重視

7

討議

- 基調講演および現状報告の間に，討議に向けた質問・意見をGoogleフォームで募集
- それぞれの講演者への質問に対する回答のほか，下記のようなテーマで活発なディスカッションが行われた
 - コロナ禍の下で，高校側では「何を大事にしようと思ったか」「大学に対してどういった対応を求めているのか」，大学側は「何を考えて，何を大事にして対応したのか」
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，半ば強制的に普及したデジタル技術，オンライン技術を，今後どのように活用できるか

8

基調講演2

オンラインを活用した 東北大学入試広報活動の新たな展開

9

基調講演 2 の内容

➤2020年度 東北大学におけるオンラインを活用した入試
広報活動に関する事後評価

1. オンライン入試説明会
2. オンライン進学説明会・相談会
3. オンラインオープンキャンパス

10

東北大学における従来の入試広報活動

●東北大学では**対面型・学内型**の入試広報活動を得意とする

種類	対象	開始年	目的・内容	類型
高校訪問	高校教員（主に 進路指導担当）	1999年 (H11)	進路指導担当教員との情報交換と、 生徒に対する進学説明会及び相談会	対面型
入試説明会	高校教員	2000年 (H12)	東北大学の入試（特に東北大学型AO 入試）に関する情報提供 2019年度は全国21都市で実施	対面型
進学説明会・相談会	高校生・受験 生・保護者	2006年 (H18)	大学紹介、入試説明と個別相談 2019年度は全国6都市で実施	対面型
オープンキャンパス	高校生・受験生	1999年※ (H11)	学部単位で研究紹介、模擬授業等の イベント実施	学内型
印刷物・入試センター HPを通じた情報発信	高校教員・高校 生・受験生・保 護者	－	大学案内、AO入試パンフレット等の 作成、その他入試に関する情報をHP で周知	発信型

※1982年に工学部の金属系3学科が学科公開を行ったのが起源と考えられる。1999年より「東北大学オープンキャンパス」として全学実施。

11

東北大学における入試広報活動のオンライン化

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため
 - ・対面型・学内型の入試広報は三密状態が不可避
- 東北大学ビジョン2030（アップデート版）実現のため
 - ・「距離・時間・国・文化等の壁を超えた多様な学生の受入れ推進」
→「**オンラインを活用して国内外を対象とする高大接続プログラムや
オープンキャンパス等を機動的に展開**」と明示



- 2020年度より、オンラインを活用した入試広報活動が本格始動
- 全学の委員会内の組織としてオンライン広報作業部会が発足
- 「オンライン入試説明会」、「オンライン進学説明会・相談会」、「オンラインオープンキャンパス」を実施

12

2020年度の入試広報活動

種類	対象	開始年	目的・内容	2020年度
高校訪問	高校教員（主に進路指導担当）	1999年（H11）	進路指導担当教員との情報交換と、生徒に対する進学説明会及び相談会	見合わせ
入試説明会	高校教員	2000年（H12）	東北大学の入試（特に東北大学型AO入試）に関する情報提供 2019年度は全国21都市で実施	オンライン
進学説明会・相談会	高校生・受験生・保護者	2006年（H18）	大学紹介、入試説明と個別相談 2019年度は全国6都市で実施	オンライン
オープンキャンパス	高校生・受験生	1999年※（H11）	学部単位で研究紹介、模擬授業等のイベント実施	オンライン
印刷物・入試センターHPを通じた情報発信	高校教員・高校生・受験生・保護者	－	大学案内、AO入試パンフレット等の作成、その他入試に関する情報をHPで周知	継続

13

1. オンライン入試説明会

- 「東北大学オンライン入試説明会」の特設サイトを開設

http://www.tnc.tohoku.ac.jp/online-nyushi_setsumei/



14

オンライン入試説明会の概要

- 実施期間：2020年7月13日～8月7日（参加申込の開始は7月1日）
- 全国を11ブロックに分け、計41回の説明会を開催
- 1セッション（＝1回の説明会）60分、定員は20名
- 時間帯は、①13:00-14:00（3回）②14:15-15:15（1回）③15:30-16:30（33回）④16:45-17:45（4回）
- ビデオ会議システム Zoom を利用

15

ブロック区分とセッション数

ブロック	都道府県	セッション数
北海道	北海道	2
北東北	青森県, 秋田県, 岩手県	4
宮城	宮城県	6
南東北	山形県, 福島県	3
北関東	茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県	4
南関東	東京都, 千葉県, 神奈川県, 山梨県	4
北信越	新潟県, 長野県, 富山県, 石川県, 福井県	3
東海	静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県	3
近畿	滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県	2
中国四国	鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県	1
九州沖縄	福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県	1
全国	全国どの都道府県からでも参加可能	8

16

申込者数と参加者数

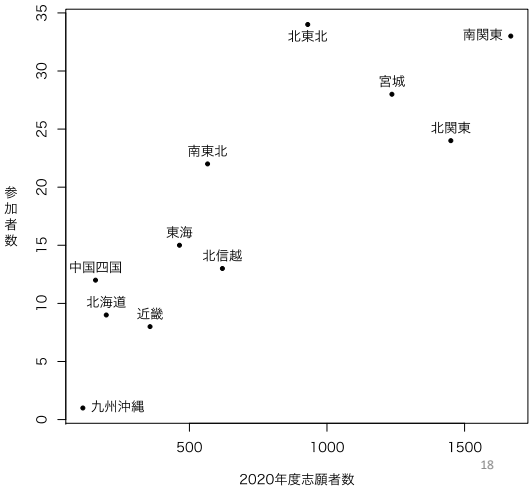
- 39回のセッションを実施
 - ・2つのセッションで申込者が0名だった
- 申込者数273名、参加者数226名（194校）、参加率82.8%
 - ・参考：2019年度の参加者数557名、うち仙台会場232名

ブロック	申込者数	充足率	参加者数	参加率
北海道	10	25.0%	9	90.0%
北東北	38	47.5%	34	89.5%
宮城	30	25.0%	28	93.3%
南東北	22	36.7%	22	100.0%
北関東	33	41.3%	24	72.7%
南関東	43	53.8%	33	76.7%
北信越	15	25.0%	13	86.7%
東海	17	28.3%	15	88.2%
近畿	10	25.0%	8	80.0%
中国四国	16	80.0%	12	75.0%
九州沖縄	2	10.0%	1	50.0%
全国	37	23.1%	27	73.0%

17

地域ごとの志願者数と参加者数との相関

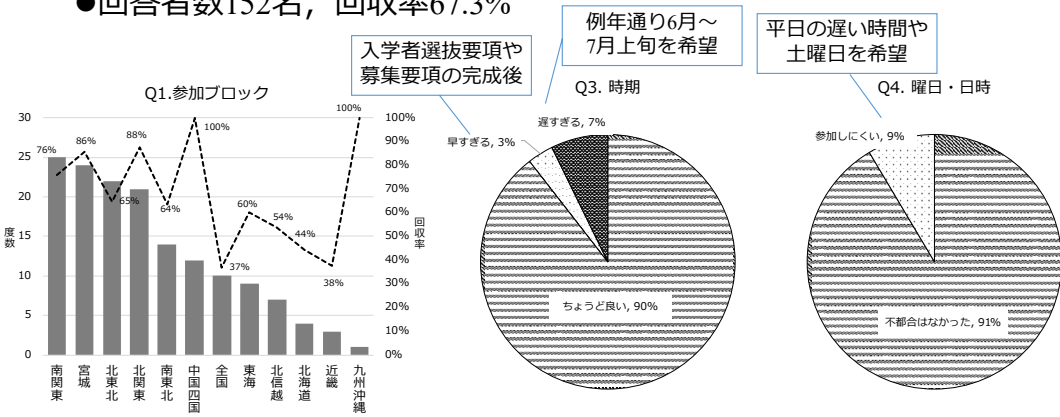
- スピアマンの順位相関係数
 $0.87 (p < .001)$
- 2020年度（令和2年度）入試の志願者数とオンライン入試説明会の参加者数との間には、強い正の相関あり



18

事後アンケートの結果①

- 参加者には任意で事後アンケートへの回答を求めた
- 回答者数152名、回収率67.3%

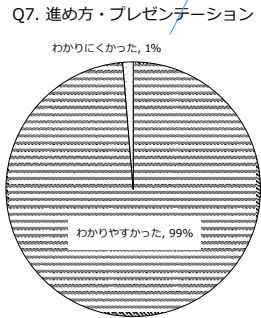
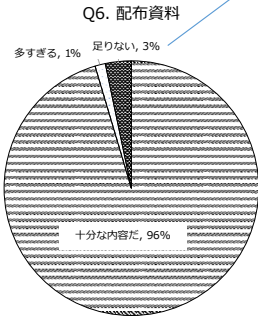
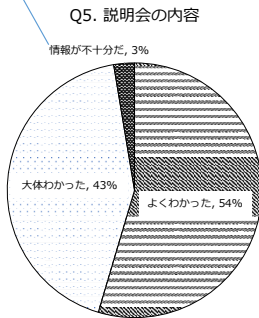


事後アンケートの結果②

入学者選抜要項の発表前で不確定な情報が多かった

機密性の観点から配布しなかった資料も欲しかった

声が小さかった



事後アンケートの結果③

●自由記述項目への回答

(1) オンラインのメリットに言及

- ・遠方に出張せずとも、説明会に参加できて、会場への移動時間や時間割変更処理などの労力が大幅に省けました。
- ・オンラインの説明会は参加しやすいので、新型コロナウイルスが収束した後も開催して頂けると助かります。

(2) 内容について

- ・東北大学全体としての入試選抜に対するスタンス・方針について大変理解を深めることができました。
- ・学部からの説明がないのは仕方のないことですが、少々残念でした。

(3) その他

- ・資料を上げているページが分からなかった。
- ・校務用PCにカメラがないので、映像を映し出すことができなかった。

21

オンライン入試説明会 まとめ

- アンケートでは、いずれの項目でも肯定的な回答が9割以上
- 新型コロナウイルス感染症の影響で先の見通しが難しい状況であっても、進路指導担当の高校教員にできるだけ早く入試に関する情報を届けたいという思いは伝わった
- 地域による参加者数の偏りや、高校側のオンライン化への対応状況の違い等を把握することができた
- より多くの高校から参加してもらうため、実施時期や実施時間帯の見直しを行う必要性が示唆された

22

2. オンライン進学説明会・相談会

- 「東北大学オンライン進学説明会・相談会」の特設サイトを開設

http://www.tnc.tohoku.ac.jp/online-singaku_setsumei/



23

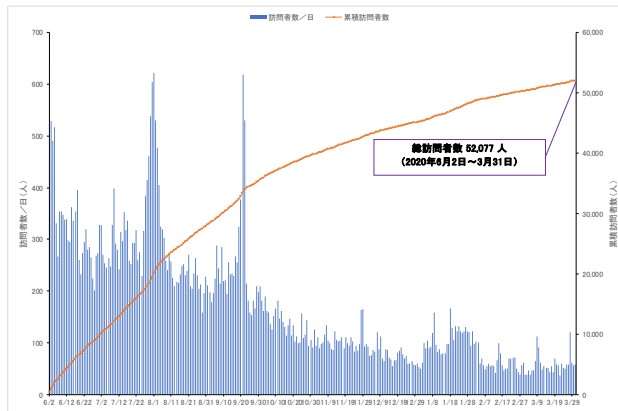
オンライン進学説明会・相談会の概要

- 期間：2020年6月1日～2021年3月31日
- 「オンライン進学説明会・相談会特別コンテンツ」，「学部紹介」，「入学後の生活」，「入試に関する資料」，「よくある質問Q&A」，「アンケート」の大きく6つのコンテンツから構成
- 豊富な動画コンテンツ
- 一部のコンテンツについては、中国語・韓国語版コンテンツも作成

24

アクセス数①

●ページビュー（PV）数と訪問者数（6/2～3/31）



指標	延べ	1日平均
PV数	153,162	505.5
訪問者数	52,077	171.9

25

アクセス数②

●PV数上位トップ10

順位	ページ	PV数	訪問者数
1	トップページ	74,584	48,088
2	大学説明&入試解説	10,063	8,184
3	トップページ（メニューより選択）	7,713	5,310
4	学部紹介：工学部	7,557	6,486
5	よくある質問Q&A	4,621	4,184
6	東北大学総長からのメッセージ	4,450	3,926
7	学部紹介：理学部	4,430	3,765
8	学部紹介：医学部医学科	3,895	3,241
9	学部紹介：文学部	3,740	3,047
10	大学説明&入試解説（ページ内リンクより選択）	3,704	3,252

26

海外からのアクセス数

●訪問者数が10以上の国・地域

順位	国・地域	訪問者数
1	アメリカ	149
2	中国	118
3	台湾	23
4	香港	17
	シンガポール	17
6	韓国	14
7	ドイツ	12

【参考】東北大学の留学生数 上位7ヶ国（2020年度）

順位	国	人数
1	中国	1,282
2	インドネシア	132
3	韓国	92
4	台湾	70
5	タイ	49
6	フランス	42
7	インド	38

27

質問BOXとQ&A

●質問BOX

- ・高校生90名，保護者20名，その他1名から計111件の質問
- ・事実として回答できる質問のみを取捨選択
- ・入試開発室の教員の他，学部・センター等の担当者にも回答作成を依頼

●よくある質問Q&A

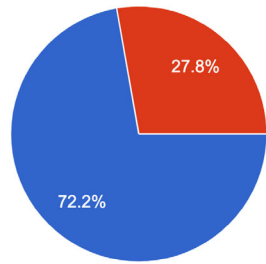
- ・48組の質問と回答を掲載

内容	Q&Aの数
学部・学科について	30
入学後の生活について	9
入試について	9

28

アンケートの結果①

- 回答者数36名（男性13名，女性22名，無回答1名）
- 回答者の属性



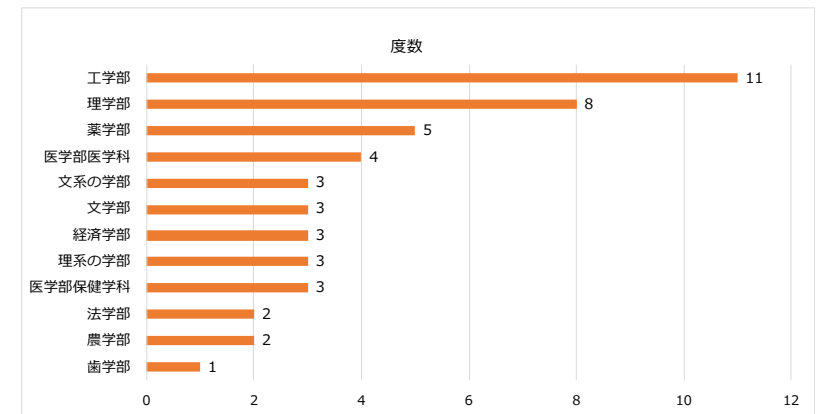
■高校生 26名
■保護者 10名

	1年生	2年生	3年生	既卒	無回答	計
公立	4	7	10	1	1	23
私立	4	4	5	0	0	13
計	8	11	15	1	1	36

29

アンケートの結果②

- 東北大志望の場合の志望学部



30

アンケートの結果③

- サイトを何で知ったか？

選択肢	度数
東北大学のウェブサイト	32
在籍している学校または予備校の先生から紹介された	4
家族・親戚から紹介された	1
その他：進学説明会を探していたとき	1

- サイトを何で試聴したか？

選択肢	度数
スマートフォン	21
PC	13
タブレット	9

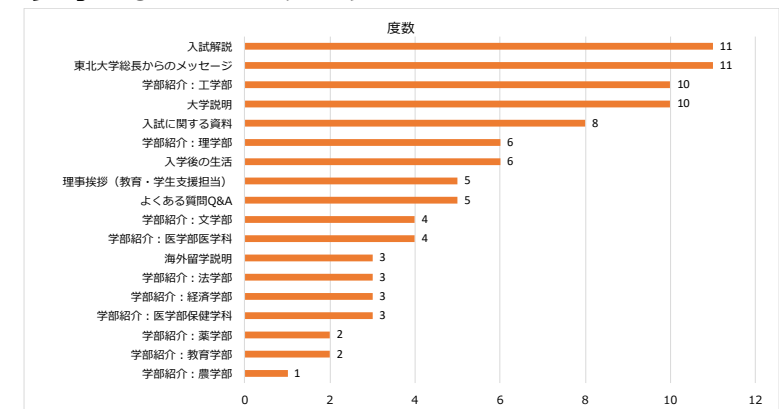
- サイトをどこで試聴したか？

選択肢	度数
自宅	35
学校	2
予備校・塾	1

31

アンケートの結果④

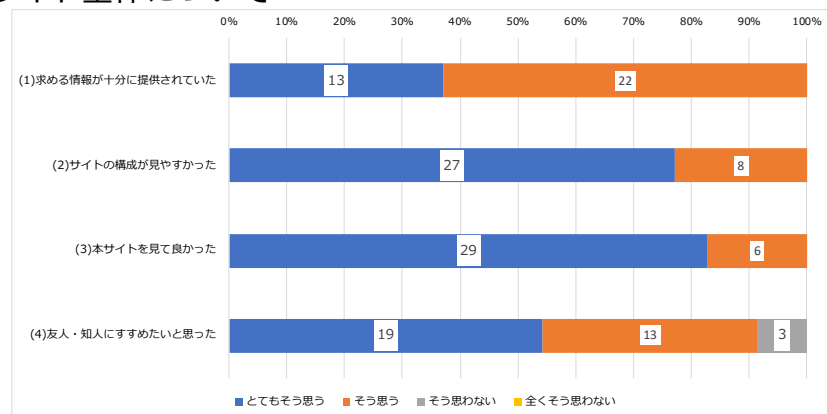
- 特に参考になったコンテンツ



32

アンケートの結果⑤

●サイト全体について



33

アンケートの結果⑥

●自由記述項目への回答

(1) 好意的意見

- ・サイトのデザインが洗練されていて、サイト内に動作があり、とても見やすかったです。
- ・自分が見たいコンテンツを直ぐに見つけられる、わかりやすいサイト構成でした。
- ・資料だけでは理解しにくいような情報を動画で解説されていて、サイトを見て良かったと感じました。

(2) 改善点

- ・大学の先生方に直接質問できる機会の提供があると助かります。
- ・オンライン相談と言いながら、質問の回答を得られる方法が非常に乏しい。

34

オンライン進学説明会・相談会 まとめ

- オンライン上での双方向のやり取りによる相談会としての機能強化が課題
 - ・2021年1月9日（土）に入試センター教員によるオンライン進学説明会，2021年1月9日（土）・10日（日）に同じく進学相談会を実施
- スマートフォンでの見やすさや，データ通信量への配慮の必要性が示唆された
- 実施後の評価方法に検討の余地あり
 - ・アンケートの回収率をいかに上げるか
- 海外からの受験生を対象としたコンテンツの整備と拡充を目指す

35

3. オンラインオープンキャンパス

- 「東北大学オンラインオープンキャンパス」のサイトを開設

<http://www.tnc.tohoku.ac.jp/online-opencampus/>



36

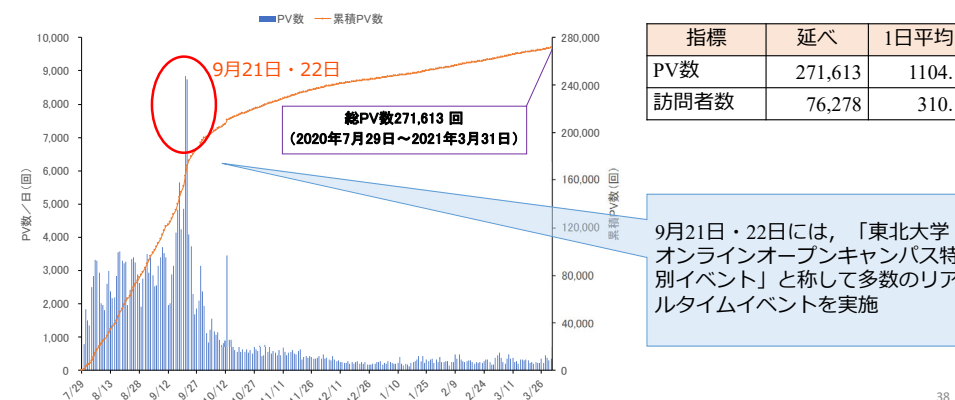
オンラインオープンキャンパスの概要

- 期間：2020年7月29日～2021年3月31日
- 各部局の自由裁量を尊重し、部局ごとのページを用意
- 川内キャンパスから14部局、青葉山キャンパスから11部局、星陵キャンパスから4部局、片平キャンパスから6部局が参加
- 各部局は①独自のウェブサイトを立て上げる方式と、②入試センターが外部委託した共通デザインのウェブサイトコンテンツを提供・掲載する方式のいずれかを選択
→ 理学部、工学部、薬学部、農学部では①を選択
- 本来のオープンキャンパス実施予定日であった9月21日・22日には多数のライブイベントを実施
- コンテンツは随時更新

37

アクセス数

- ページビュー（PV）数と訪問者数（7/29～3/31）



38

海外からのアクセス数

- 訪問者数上位の国・地域

順位	国・地域	訪問者数
1	アメリカ	410
2	中国	211
3	台湾	46
4	シンガポール	29
5	韓国	28
6	香港	21
7	イギリス	20
8	オーストラリア	16
9	タイ	14
10	ベトナム	12

39

東北大学新入学者対象アンケート

- 東北大学高度教養教育・学生支援機構入試開発室では、毎年、**新入学者を対象として、入試、オープンキャンパス、入試広報**に関するアンケートを実施
- オープンキャンパスや進学説明会・相談会への参加経験の有無、またそれらへの参加が志望決定にとってどの程度意味があったか、等の質問項目が含まれる
- 昨年度までは質問紙による調査、本年度は質問紙とWebを併用

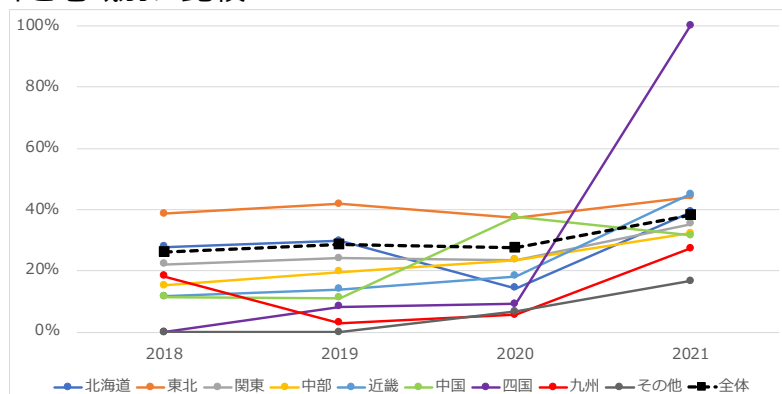
	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)*
回答者数	2,413	2,406	2,372	859
回収率	98.7%	97.8%	98.2%	—

※2021年度（令和3年度）入学者については回答回収中のため、2021年5月5日時点でのWebによる回答者数

40

新入学者対象アンケートの結果①

- 新入学者のうち、前年度のオープンキャンパスに参加した者の割合を地域別に比較



41

新入学者対象アンケートの結果②

- オープンキャンパスへの参加は、入学した学部・学科への志望の決定にどの程度の意味があったか？（参加者比）

		決め手となった	参考になった	あまり関係なかった	全く無関係
2018	前年	35.5%	53.4%	9.4%	1.8%
	それ以前	18.3%	59.1%	14.8%	7.8%
2019	前年	33.8%	54.6%	8.6%	3.0%
	それ以前	18.1%	65.8%	12.9%	3.2%
2020	前年	39.2%	51.1%	7.4%	2.3%
	それ以前	21.4%	61.4%	12.6%	4.6%
2021	前年	8.0%	75.9%	13.0%	3.1%
	それ以前	23.6%	54.7%	17.3%	4.3%

42

オンラインオープンキャンパス まとめ

- オンラインであっても、志望決定に資する情報を提供できていた
- オンライン化により、これまで参加が難しかった地域の受験生もアクセスが容易に
- 実施後の評価をどのように行うかが課題の一つ
 - ・アクセス数には、方式②を選択した部局の情報しか含まれない
 - ・新入学者対象アンケートは継続して実施
- 高校生・受験生にとって有用かつ魅力的なコンテンツ作成
 - ・従来のオープンキャンパスに比べて学生主体の企画が少ない
 - ・海外からのアクセスへの対応

43

2021年度の入試広報活動

種類	2020年度	2021年度
入試説明会	オンライン	主としてオンライン ・ 6月中旬から下旬にかけて18回実施 + 8月27日に追加実施 ・ 仙台会場（6月29日）のみ対面
進学説明会・相談会	オンライン	オンライン（オンラインオープンキャンパスと統合） ・ 6月21日にサイトオープン
オープンキャンパス	オンライン	ハイブリッド開催を予定していたが... ・ 6月21日にオンラインオープンキャンパスサイトオープン ・ 対面は中止に

44

2021年9月6日 令和3年度 第1回「入試科研2」研究会

ご清聴ありがとうございました

